



“新訳 科学的管理法” ~ マネジメンの原点 ~

F. W. テイラー著 有賀裕子訳 2009年11月刊 ダイヤモンド社 1600円+税

この本は、現代的なマネジメンの創始者とされるテイラーが1911年に出版した本の新訳の復刻版である。

テイラーはT. ルーズベルト大統領の呼びかけに答え、人間の行動に含まれる、目に見えない無駄を撲滅して効率を上げよう取り組んだ。

それまでの、作業者の自主性に任せ、成績に応じてインセンティブ(割り増し賃金)を払うやり方では、作業の遅い者のペースに引きずられて無駄は減らないと考え、科学的なマネジメンを考案した。

テイラーは勤めていた製鉄所の作業を例に、単純な「銑鉄(製鋼原料の鉄の塊)の運搬作業」「シャベルすくい作業」「レンガ積み作業」「ベアリング用ボールの検査作業」から複雑な「金属切削作業」まで、わかりやすい例でそのやり方を説明している。

その方法の骨子は、作業を観察し、作業時間を測定する時間研究、動作の中味を分析する動作研究によって作業を分析し、その結果から効率的な作業を組立てて実行するというものである。

マネージャーには作業の分析、作業の組立て、段取り、作業への指示など重要な任務が課せられる。作業者はきめられた指示に基づいて作業する。ただし、それぞれの作業に適性のある者を選

別する。繰り返し作業、とっさの判断で行う作業では必要な適性が異なる。

この科学的管理法で生産性を上げることにより、経営者、作業者ともに豊かになれると力説している。

これまでテイラーのやり方は機械的で冷たいという印象を持っていたが、この本を読むとテイラーが作業者を数だけで判断せず、彼ら一人ひとりの能力や性格、作業の種類に応じた適性、作業負荷と疲労・休憩、自主性を発揮させる改善提案にまで立ち入って考えていたことがわかり、教えられるところが多かった。

テイラー以来100年の間にマネジメンには新しい手法やシステムが導入され、生産性を上げる方法も進歩したが、それでもマネジメンの基本に立ち返るには良い本だと思いますので、ご一読をお勧めします。(池田隆記)



ATAC活動の内容 PR

ATACは長年の経験により培った独自の技術とノウハウを、中堅・中小企業の方々が抱えられるモノづくり、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援し、発展に資することを目的としています。

1. コンサルティング

中堅・中小企業の皆様がお悩みのさまざまなテーマについて、コンサルティングを行います。

- ・モノづくり(合理化・5S・品質改善・新製品の開発)
- ・生産管理システムの構築
- ・事業継続計画(BCP)作成支援
- ・公的資金の導入支援

2. セミナー開催・講師派遣

従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。講演会・研修会へ講師派遣も行ないます。

- ・フレッシュマンパワーアップ研修(3日間)
- ・管理職~中堅社員の社内研修(内容・必要日数は相談に応じます。)
- ・社長懇話会

3. 書籍刊行

- ・ATACの経営便利帳
- ・現場の課題解決はこうする(中堅・中小企業の業務改善例)
- ・中堅・中小企業へのATAC提言集(1)~(6)
- ・目からウロコのアドバイス ~中小企業経営者への提言~

4. 産学連携のお手伝い

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

相談無料

まずは、ご連絡下さい

(財)大阪科学技術センター
技術・情報振興部
ATAC事務局

Tel [06-6443-5323](tel:06-6443-5323)

Email atac@ostec.or.jp

URL <http://www.atac.ne.jp>

ATACニュース、Webに関するご意見、ご要望なども、どしどしお寄せ下さい。

編集後記

今年の春は気温の変動が激しく、しまいかけたコートを引っ張り出したり、ファッションを気にして薄着で外出して寒い思いをしたりと天気に悩まされてしまいました。ATACも今年設立20周年を迎え、ますます活況に活動を行いたいと思っています。「緊急講演会」も今回新たな活動の一つでしたが予想を上回る盛況ぶりに逆にATACが勇気付けられました。景気のお天道様のご機嫌もなんのその、果敢な活動の内容をATACニュースでお届けしたいと思います(長岡)